



- 調査実施日 2013年12月10日
 - 調査場所 ウカヤリ州郡コロネル・ポティジョ郡プカルパ市の一般家庭
 - 調査対象 ガブリエル(仮名)さん一家
- 現地通貨ヌエボソル(通称ソル 1米ドル=2.8ソル・2013年12月現在)



ガブリエルさん一家



家族	夫 ガブリエルさん(45歳) 妻 (42歳) 長女 (22歳、リマに下宿) 次女 (19歳、リマに下宿) 長男 (18歳) 次男 (9歳)
世帯収入	月額 1,300ソル~2,000ソル
職業	漁業、農林業など(夫)、伝統工芸(妻)
休日	不定期
出身地	ウカヤリ州コロネル・ポルティジョ郡

ガブリエルさん (45歳)

職業 漁業、農林業
月収 300ソル~1,000ソル

よく使う交通手段は?
三輪バイク、ボート

趣味は?
特にない。

休暇の過ごし方は?
仕事で家を空けることが多いので、在宅中は家の片付けなどをする。



買い物スポットは?
普段の買い物は家内に任せているので、特にない。漁業に使う、魚網やボートの船外機、燃料、工具などは地元ヤリナで調達できる。

今欲しいものは?
大型の魚を大量に捕獲できる魚網。

ペルー・アマゾンの先住民族シピボ族の伝統工芸作家のガブリエルさんは現在の夫と再婚。夫は腕のよい漁師だが、最近では乱獲や水質悪化により漁獲が激減したため、木材伐採や遠い地域の農場労働者などの出稼ぎに出て、家を空けることも多い。

もともと出身地である近郊の村で暮らしていたが、プカルパ市内の学校に通う長男と次男のためを思い、プカルパ市街地の郊外にある現在の家を買取り、引っ越してきた。長女と次女は通学のため首都リマに下宿している。

妻 (42歳)

職業 主婦、伝統工芸
月収 500ソル

よく使う交通手段は?
三輪バイク、ボート

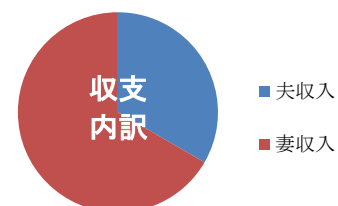
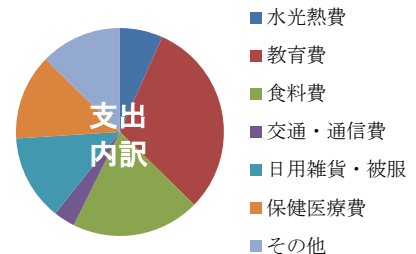
休暇の過ごし方は?
6月のサンファン祭りの年2回は家族でヤリナの町に繰り出す。クリスマスは親族一同集まる。

趣味は?
実益も兼ねた伝統工芸。



買い物スポットは?
普段の食材(生鮮食品、保存食品、各種調味料)のほか、衣類・履物や日用雑貨などは、すべてヤリナの伝統市場で必要な分だけ買う。

今欲しいものは?
主人の願望である魚網。



住居 近代的要素と伝統が混在する暮らし



ガブリエルさんの自宅は州都プカルパ市郊外のヤリナ地区にある。引越して間もないうえ、停電が頻発し、家電も故障しており、道路沿いのトタン屋根とコンクリート床の母屋を十分に使いこなせていないようだ。気温は年平均30℃、年間降水量 1,500mm を超える気候のため、家族が大半の時間を過ごすのは、母屋の裏手に建つやしの葉葺きの壁なしの土間の小屋である。大テーブルやガスコンロ、ハンモックがあり、食堂、台所、居間、工芸品制作の作業場を兼ねており、マルドナドさん出身の先住民の伝統が色濃く反映されている。上水道はあるが、下水インフラが未整備のため、ほぼ垂れ流し状態である。

所有の有無	所有地
間取り	寝室3、ガレージ、食堂・台所
広さ	敷地面積 200 m ² 、総床面積 80 m ²
居住年数	1年
電気	5 ソル/月。停電が頻発。
上水道	5 ソル/月。貯水・給水施設は村で管理
下水道	インフラ未整備。地面に垂れ流し。
ガス	ポンベ交換式。32 ソル/月
電話	携帯電話 3 ソル/月 基本的に受信のみ。
インターネット	インフラ未整備。
ケーブル TV	インフラ未整備。

テレビ	ソニーの中古
冷蔵庫	中古入手したが故障。
洗濯機	なし
ガスコンロ	新品を利用
ミキサー	なし
ステレオ	なし
DVD	なし
電子レンジ	なし
炊飯器	なし
PC	なし
自動車	3輪バイクを保有。



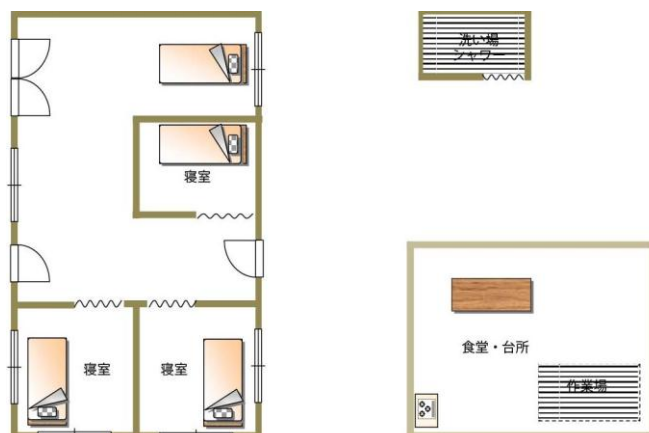
母屋を抜けると食堂、台所・居間、作業場を兼ねた離れがある。



左：母屋の玄関を入るとまず目に飛び込んでくるのが、故障した冷蔵庫とテレビ、デスクトップ。テレビと冷蔵庫が故障する前は、このスペースで冷たい飲み物を飲みながらテレビを楽しんでいたという。
右：メカニックを育成する専門学校に通う長男のダビッが友人所有のノート型 PC を使いゲームで遊んでいる。インターネットの基幹インフラが整備されていないので、PC の能力を引き出すには、ディスクや USB が欠かせない。



裏手から離れと母屋を望む。壁のない離れは家族団らんの場である。



いわゆる素掘式トイレ、おがくず投入で腐臭を中和。満杯になると場所を変える。

調理はまきとガスを併用

先住民シピボ族出身のマルドナドさんにとって先祖伝来の食事といえば、魚の塩焼きと焼きバナナである。食堂と台所、居間を兼ねたやし葺小屋の土間の片隅にまきを焚き、適度に塩をまぶした川魚、皮をむき半割りにした調理用バナナを金網に乗せてじっくり調理する。これが昼食の主な献立である。

一方でガスコンロを持っており、こちらは、鶏肉を使ったシチュー料理も得意。タマネギ、ニンジン、ジャガイモと一緒にコリアンダーペーストで煮込む料理や、魚をハーブをきかせて煮た料理、さらには、バナナとならんで主食として定着したコメの炊飯にも欠かせない道具であり、目ぼしい工業製品がないなかで新品の中国製のガスコンロは異彩を放っている。

朝食には、焼きバナナもしくは揚げバナナに、コーヒーや紅茶、ハーブティーなどにほかに、バナナペーストを溶いたチャポという飲み物がつく。地域で管理する上水道の水質は飲料に適さないため、飲料水は煮沸したうえでポリタンクに保管している。

食材の買い物はすべてヤリナ地区の伝統市場で行う。以前、生まれ故郷の村で暮らしていた当時は、漁師である夫が釣ってきた魚の塩蔵や自宅裏に植えてあるバナナの木から日々の糧が得られたが、郊外地区とはいえ都市生活になったことで、すっかり買い物物が主体となった。

なお、プカルパ市には近年、チリ資本など外資系のスーパーマーケットチェーンが進出しているが、そういった店舗に買い物に出かけたこともないし、興味もないとのこと。習慣でもあり、また家計上の理由から、外食なども一切したことがないという。



上:得意料理の鶏肉煮込みや炊飯、揚げ物には、一定の火力で強弱の調節ができるガスコンロを使用。右:主食の焼きバナナや生魚の塩焼きは、土間の片隅にまきを焚いて金網で調理する。



上左:基本調味料に加え、缶ミルク、固形コンソメ、ハーブティーなど揃えている。上右:飲料水は、井戸水が水源である水道を煮沸したうえ、ポリバケツで保存する。



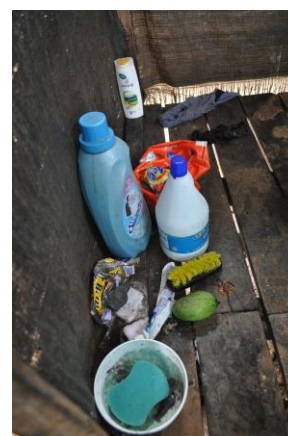
上左:主食の調理用バナナの網焼きと川魚の塩焼き。先祖伝来の味だ。上右:娘2人リマに下宿中だが、夫は休暇の在宅中だったため、久しぶりに家族4人で食卓を囲む。



上左:プカルパ市の川岸一帯はヤリナ地区と呼ばれ、ガブリエルさんは食材が必要になると3輪バイクタクシーでヤリナの伝統市場で買い物をする。以前は漁師である夫の漁獲で十分賄えたが、最近では乱獲の影響などもあって漁獲も減り、買うことが多くなったという。



下左:タロイモ、コメと並んで主食のバナナは、果物として生食するもののほか、つぶして煮る・焼く・揚げるなど調理して食べるタイプなど種類が豊富。



上左:壁のない食堂・台所の正面に建つ小屋は食器洗い場。流しはなくなつたらに水を入れて使う。下水道インフラは整備されていないので、水はそのままに垂れ流し。上右:実はこの食器洗い場は、食材を洗う場所でもあり、洗濯場でもあり、なおかつ、シャワーを浴びるバスでもある。食器洗剤、洗濯洗剤、たわし、スポンジ、シャンプーが並んでいる。

タイムテーブル 平日（上）

休日（日曜日）（下）

	ガブリエルさん	妻	長男
5:00		起床、朝食の支度	
6:00	起床	朝食	起床、朝食
7:00	朝食		通学
8:00		工芸品制作	授業
9:00	在宅時は家の修繕、道具の手入れな		
10:00			
11:00		昼食の支度	
12:00			
13:00	昼食	昼食	学校で外食
14:00		家事	
15:00	在宅時は家の修繕、道具の手入れな	工芸品制作	
16:00			
17:00			
18:00		夕食の準備	帰宅
19:00	夕食	夕食	夕食
20:00			
21:00	就寝	就寝	就寝

	ガブリエルさん	妻	長男
6:00		起床	
7:00	起床、朝食	朝食	起床、朝食
8:00			
9:00		工芸品制作	
10:00			
11:00		昼食の支度	
12:00			
13:00	昼食	昼食	昼食
14:00		家事	
15:00		工芸品制作	
16:00			
17:00			
18:00		夕食の準備	
19:00	夕食	夕食	夕食
20:00			
21:00	就寝	就寝	就寝

取材ノート:

ペルーには伝統の暮らしを守る先住民族も数多く、ガブリエルさんの出身であるシピボ族もそうした先住民のひとつである。公用語であるスペイン語のほか独自の言語シピボ語を話すなど先祖伝来の伝統を受け継いでいるが、子供の将来を考えて教育費を工面するために、携帯電話を使い、銀行口座を開設して、首都リマにいる伝統工芸の顧客との取引の効率化を図った。子供たちはそれぞれ看護婦、機械工を志望して勉学にいそんでいる。

一方で、環境の変化がガブリエルさんの暮らしに変化をもちた一面もある。以前は出身の村でバナナやタロイモを栽培し、魚をとって街で売ったお金で十分生活できたが、まず、漁獲が激減した。乱獲とも水質汚染の影響とも言われている。森林伐採が進んだことで土壌や水系が影響を受け、野菜の栽培もままならなくなった。夫は生活を支えるため、材木の伐採や時には遠い沿岸部で農場で働くなど出稼ぎに出なくてはならなくなっているという。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。